



2023年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月11日

上場会社名 ゼット株式会社
コード番号 8135 URL <https://zett.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理統括本部長 (氏名) 林 賢志

TEL 06-6779-1171

定時株主総会開催予定日 2023年6月29日

配当支払開始予定日

2023年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2023年6月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	49,887	11.4	997	102.7	1,220	37.7	905	25.3
2022年3月期	44,762	19.0	491		885	502.1	723	560.0

(注) 包括利益 2023年3月期 1,842百万円 (40.6%) 2022年3月期 1,310百万円 (151.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	46.28		7.5	4.5	2.0
2022年3月期	36.94		6.9	3.7	1.1

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 百万円 2022年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	28,863	12,934	44.8	660.79
2022年3月期	25,309	11,189	44.2	571.65

(参考) 自己資本 2023年3月期 12,934百万円 2022年3月期 11,189百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	1,474	86	336	5,932
2022年3月期	437	137	281	4,872

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期		0.00		5.00	5.00	97	13.5	0.9
2023年3月期		0.00		8.00	8.00	156	17.3	1.3
2024年3月期(予想)		0.00		8.00	8.00		26.1	

2022年3月期 期末配当金の内訳 普通配当金 2円00銭 特別配当金 3円00銭

2023年3月期 期末配当金の内訳 普通配当金 2円00銭 特別配当金 6円00銭

2024年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当金 2円00銭 特別配当金 6円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,200	1.2	480	20.4	480	36.9	350	29.7	17.88
通期	50,500	1.2	800	19.8	800	34.4	600	33.8	30.65

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期	20,102,000 株	2022年3月期	20,102,000 株
期末自己株式数	2023年3月期	527,141 株	2022年3月期	527,054 株
期中平均株式数	2023年3月期	19,574,924 株	2022年3月期	19,574,946 株

(参考)個別業績の概要

2023年3月期の個別業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	48,015	11.5	679	109.1	911	51.5	675	33.8
2022年3月期	43,063	19.5	324		601		504	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	34.49	
2022年3月期	25.78	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	28,655	12,395	43.3	633.23
2022年3月期	25,332	10,891	43.0	556.42

(参考) 自己資本 2023年3月期 12,395百万円 2022年3月期 10,891百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
4. その他	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、経済活動は正常化が進み、景気の持ち直しがみられました。一方、長期化するウクライナ情勢不安の影響もあって原材料やエネルギー価格の高騰、物価の上昇により先行きは依然として不透明な状況であります。

このような状況の中で当社グループは、基本方針として「新しい価値の創造」「利益の創出と社会的使命の両立」「人材の戦略的活性化」「次世代DX卸ビジネスモデルへ向けて」を定め、特に具体的な施策として「構造改革の更なる前進」「ESG経営の推進」の2つを進めております。「構造改革の更なる前進」については、①収益性の向上 ②利益を伴った売上拡大 ③在庫・物流改革に取り組んでおり、「ESG経営の推進」については、①環境への対応 ②社会との調和 ③ガバナンスの強化に取り組んでおります。この方針及び施策のもとグループ各社一丸となり、企業価値向上並びに業績向上に努めました。

その結果、当連結会計年度の売上高は49,887百万円（前期比11.4%増）、営業利益は997百万円（前期比102.7%増）、経常利益は1,220百万円（前期比37.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は905百万円（前期比25.3%増）となりました。

部門別の業績は、次のとおりであります。

(卸売部門)

卸売部門は、アスレックス市場において、学校部活動等が正常化し、数多くの大会等イベントも再開され、全てのカテゴリーにおいて増収となりました。特に屋内スポーツの活動回復により卓球用品及びテニス・バドミントン用品は好調でした。また、野球・ソフトボール用品は、当社とアドバイザー契約している選手の活躍もあって堅調でした。サッカー用品はFIFAワールドカップカタール2022において日本代表が強豪国に勝利する活躍もあり堅調でした。ライフスタイル市場において、スポーツカジュアルのアパレル用品とフットウェア用品が好調を維持し、アウトドア用品は購買行動の変化もあり落ち着きはありますが、引き続き堅調でした。ウエルネス&ボディケア市場において、活動機会の増加もあって堅調でした。

この結果、売上高は48,039百万円（前期比11.5%増）となりました。

(製造部門)

製造部門は、野球・ソフトボール用品の「ゼットベースボール」は、前期の納期遅延により販売機会が当期にずれ込んだことと、軟式高機能バットが高評価を受け、オーダーグラフが引き続き堅調であったことにより好調でした。バスケットボール用品の「コンバース」は、ホームページの改修等の販売促進強化し採用チーム数増加させたものの、競合他社との競争激化により苦戦しました。

この結果、売上高は281百万円（前期比20.1%増）となりました。

(小売部門)

小売部門は、活動制限の緩和により登山者の増加に加え、専門性の高い品揃えと接客を充実し、顧客満足度を高めたことで来店者、ECサイトへのアクセス数を増やすことができ、コロナ禍前の売上高まで回復し堅調でした。専門性を一層強化したことにより利益率も改善させることができました。

この結果、売上高は588百万円（前期比7.0%増）となりました。

(その他部門)

スポーツ施設運営部門は、前年同期比では増収となりましたが、会員数はコロナ禍前の水準に回復せず、未だ厳しい状況が続いており苦戦しました。なお、2023年5月1日にスポーツ施設運営事業を譲渡しました。

物流部門は、外部受託業務の取扱い数量が増加したことにより堅調でした。

この結果、売上高は977百万円（前期比7.8%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の総資産は28,863百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,553百万円増加いたしました。

流動資産は21,706百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,277百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が1,060百万円、商品及び製品が663百万円、売掛金が651百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は7,156百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,275百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券が1,344百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末の負債合計15,928百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,808百万円増加いたしました。

流動負債は13,406百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,605百万円増加いたしました。これは主に電子記録債務が1,861百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は2,521百万円となり、前連結会計年度末に比べ202百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が150百万円減少したものの、繰延税金負債が377百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は12,934百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,744百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が808百万円及びその他有価証券評価差額金が928百万円増加したこと等によるものであります。

この結果自己資本比率は44.8%となり、前連結会計年度末に比べ0.6ポイント増となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、営業活動により1,474百万円獲得し、投資活動により86百万円使用し、財務活動により336百万円使用した結果、当連結会計年度末における残高は5,932百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,060百万円増加いたしました。

営業活動の結果、獲得した資金は1,474百万円となりました。これは主に、たな卸資産の増加718百万円及び売上債権の増加586百万円があったものの、税金等調整前当期純利益1,220百万円及び仕入債務の増加1,526百万円があったこと等によるものであります。

投資活動の結果、使用した資金は86百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出74百万円、無形固定資産の取得による支出16百万円があったこと等によるものであります。

財務活動の結果、使用した資金は336百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出206百万円、配当金の支払額97百万円があったこと等によるものであります。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率 (%)	43.8	44.4	43.1	44.2	44.8
時価ベースの自己資本比率 (%)	19.1	15.8	18.7	19.3	19.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	1.8	—	1.4	3.6	0.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	450.3	—	414.1	176.3	875.0

(注) 自己資本比率

: 自己資本 / 総資産

時価ベースの自己資本比率

: 株式時価総額 / 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率

: 有利子負債 / 営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ

: 営業キャッシュ・フロー / 利払い

*各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

*株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

*営業キャッシュ・フローは、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象にしております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

*2020年3月期の「キャッシュ・フロー対有利子負債比率」及び「インタレスト・カバレッジ・レシオ」については、営業キャッシュ・フローがマイナスのため、記載しておりません。

（4）今後の見通し

今後の見通しにつきましては、ウクライナ情勢等の地政学上のリスク、米ドル為替相場、原材料やエネルギー価格の動向等の不確実な要因が多くあり、いずれも経営を圧迫する要因となり得るため、引き続き不透明な状況が続くと見通しております。

このような経営環境のなか当社グループは、社会に新しい価値を創造するスポーツ&ライフスタイル企業として、安定して継続的に利益を計上できる会社にしてまいります。

コロナ禍からの回復もあって商品取扱高が大きく増加しており、物流業務の改革が取引先満足度の向上と「次世代DX卸ビジネスモデル」実現に必須の状況です。そこで2023年8月に老朽化が進み手狭になっておりました西日本の物流センターを移転し、物流業務の改革を進めてまいります。商品取扱高の増加により増収となるものの、原材料やエネルギー価格の上昇に加え、物流センターの移転に伴い費用が増加することにより、減益を見込んでおります。

なお、次期の業績見通しは下記のとおりであります。

翌連結会計年度（2024年3月期）の連結業績の見通しにつきましては、売上高50,500百万円（前期比1.2%増）、営業利益800百万円（前期比19.8%減）、経常利益800百万円（前期比34.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益600百万円（前期比33.8%減）を予想しております。

なお、上記の業績は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、会計基準につきましては日本基準を適用しております。IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,172	6,232
受取手形	587	603
売掛金	8,177	8,829
電子記録債権	1,492	1,411
商品及び製品	3,329	3,992
仕掛品	59	67
原材料及び貯蔵品	150	197
返品資産	411	327
その他	167	171
貸倒引当金	△120	△127
流動資産合計	19,428	21,706
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,715	2,683
減価償却累計額	△2,122	△2,120
建物及び構築物 (純額)	592	563
土地	1,228	1,228
その他	846	792
減価償却累計額	△728	△668
その他 (純額)	118	124
有形固定資産合計	1,939	1,915
無形固定資産		
その他	158	131
無形固定資産合計	158	131
投資その他の資産		
投資有価証券	3,228	4,573
長期貸付金	11	11
敷金	221	209
その他	527	397
貸倒引当金	△204	△82
投資その他の資産合計	3,784	5,109
固定資産合計	5,881	7,156
資産合計	25,309	28,863

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,210	5,875
電子記録債務	3,712	5,574
短期借入金	206	150
未払法人税等	148	275
未払消費税等	124	81
賞与引当金	229	225
返金負債	482	386
その他	685	837
流動負債合計	11,801	13,406
固定負債		
長期借入金	325	175
繰延税金負債	655	1,033
退職給付に係る負債	334	313
長期未払金	11	11
その他	992	989
固定負債合計	2,318	2,521
負債合計	14,120	15,928
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,005	1,005
資本剰余金	2,968	2,968
利益剰余金	5,321	6,130
自己株式	△74	△74
株主資本合計	9,221	10,029
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,948	2,877
繰延ヘッジ損益	6	△1
為替換算調整勘定	26	35
退職給付に係る調整累計額	△13	△6
その他の包括利益累計額合計	1,968	2,905
純資産合計	11,189	12,934
負債純資産合計	25,309	28,863

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	44,762	49,887
売上原価	36,391	40,728
売上総利益	8,371	9,159
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	446	496
運賃及び荷造費	942	932
賃借料	276	287
役員報酬及び給料手当	3,171	3,286
貸倒引当金繰入額	171	49
賞与引当金繰入額	213	211
減価償却費	146	124
その他	2,509	2,773
販売費及び一般管理費合計	7,879	8,161
営業利益	491	997
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	20	42
受取賃貸料	9	9
業務受託料	5	8
助成金収入	342	142
その他	22	29
営業外収益合計	402	233
営業外費用		
支払利息	2	1
その他	5	9
営業外費用合計	8	11
経常利益	885	1,220
特別利益		
役員退職慰労金戻入額	63	—
特別利益合計	63	—
特別損失		
減損損失	146	—
特別損失合計	146	—
税金等調整前当期純利益	803	1,220
法人税、住民税及び事業税	156	327
法人税等調整額	△75	△13
法人税等合計	80	314
当期純利益	723	905
親会社株主に帰属する当期純利益	723	905

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	723	905
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	573	928
繰延ヘッジ損益	1	△8
為替換算調整勘定	15	9
退職給付に係る調整額	△2	6
その他の包括利益合計	587	936
包括利益	1,310	1,842
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,310	1,842

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,005	2,968	4,638	△74	8,537
当期変動額					
剰余金の配当			△39		△39
親会社株主に帰属する当期純利益			723		723
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	683	—	683
当期末残高	1,005	2,968	5,321	△74	9,221

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,375	4	11	△10	1,380	9,918
当期変動額						
剰余金の配当						△39
親会社株主に帰属する当期純利益						723
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	573	1	15	△2	587	587
当期変動額合計	573	1	15	△2	587	1,271
当期末残高	1,948	6	26	△13	1,968	11,189

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,005	2,968	5,321	△74	9,221
当期変動額					
剰余金の配当			△97		△97
自己株式の取得				△0	△0
親会社株主に帰属する当期純利益			905		905
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	808	△0	808
当期末残高	1,005	2,968	6,130	△74	10,029

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,948	6	26	△13	1,968	11,189
当期変動額						
剰余金の配当						△97
自己株式の取得						△0
親会社株主に帰属する当期純利益						905
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	928	△8	9	6	936	936
当期変動額合計	928	△8	9	6	936	1,744
当期末残高	2,877	△1	35	△6	2,905	12,934

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	803	1,220
減価償却費	154	131
減損損失	146	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	169	△116
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4	△4
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1	△20
受取利息及び受取配当金	△22	△43
支払利息	2	1
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,147	△586
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△166	△718
仕入債務の増減額 (△は減少)	580	1,526
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△30	△43
その他	△15	289
小計	472	1,636
利息及び配当金の受取額	22	43
利息の支払額	△2	△1
法人税等の支払額	△54	△204
営業活動によるキャッシュ・フロー	437	1,474
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△22	△74
無形固定資産の取得による支出	△102	△16
投資有価証券の取得による支出	△6	△9
貸付けによる支出	—	△2
貸付金の回収による収入	2	2
定期預金の預入による支出	△300	△300
定期預金の払戻による収入	300	300
その他	△8	12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△137	△86
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△206	△206
配当金の支払額	△39	△97
その他	△35	△32
財務活動によるキャッシュ・フロー	△281	△336
現金及び現金同等物に係る換算差額	15	9
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	34	1,060
現金及び現金同等物の期首残高	4,838	4,872
現金及び現金同等物の期末残高	4,872	5,932

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、スポーツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)		当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	
1株当たり純資産額	571.65円	1株当たり純資産額	660.79円
1株当たり当期純利益	36.94円	1株当たり当期純利益	46.28円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。		潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

区分	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	723	905
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	723	905
普通株式の期中平均株式数 (千株)	19,574	19,574

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の変動

① 代表取締役の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動)

(2023年3月31日の開示したものを掲載しております)

・新任取締役候補

取締役 山中 博 (現 執行役員 営業統括本部 営業本部 製品事業部長 兼 ベースボール営業部長)

③ 就任予定日

2023年6月29日